

大阪市教

2024年 4月 4日
VOL. 612

発行 大阪市学校園教職員組合
大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)
TEL 6910-8700 FAX 6910-7990



子どもたちの未来のために 脱化石燃料 なくせ原発

地球沸騰化

原発ゼロの会・大阪は3月9日、「なくせ原発！再稼働反対！大阪集会」を開き300人余が参加しました。集会後パレードで「地球温暖化ストップ」「自然エネルギー推進」「能登半島支援」「志賀原発廃炉」を訴えました。

金合邦夫代表委員は、「能登半島地震。もし珠洲原発が造られていたら」とし、岸田政権の汚染水海洋放出、積極的活用政策（老朽原発延命、革新型炉の開発促進）を厳しく批判しました。

浅岡美恵・気候ネットワーク理事長が「脱化石化に向かう時代をどう生きるか」と題して講演しました。

「地球沸騰化」IPCC第6次評価統合報告書公表に際しグレートス国連事務総長は「人類は薄氷の上を歩いている、しかも急速に溶けつつある」と発言。過去数百万年になく人間活動が引き起こした地球環境の特別な時代。将来世代の経験する温暖化は今の選択に懸かっている。

日本は石炭火力発電出力が増えている。気候政策ランキングは58位（67国中）で前年度比8位低下。

発電所、製鉄所、化学・セメント工場等の温室効果ガス排出量の60%を占めている。

化石燃料から素早くアンモニアをつくる政府案はグリーンウォッシュ（見せかけ）。

ドイツでは気候保護法の30年目標は若者世代に不正と声が上がりが法改正実現。韓国FFIは健康的な環境を享受する権利があると20年3月に提訴。子どもたちの未来のために私達にできることはたくさんある。

連労組要求 万博中止 災害・防災を 賃上げ 労働条件改善

市労組連は3月18日、2024年市労組連春闘要求書提出交渉を行いました。能登半島地震による災害対策の圧倒的貧困が改めて明らかになり、「尊厳ある生活」が保障されたいと訴えています。しかし大阪府・市は万博開催に暴走を続け、避難所となるべき小中学校統廃合、災害時に必要な正規職員・現業職員を減らし続けられています。公務・公共サービスを削減し、教育の拡充とともにすべての労働者の大幅な賃金引上げ、労働条件改善を求めました。

大阪・関西万博中止関連6項目、災害・防災対策関係7項目、賃金関係17項目、労働条件関係14項目、学校関係14項目、労働安全・福利厚生関係12項目の要求を提出。

妊娠障害休暇の他市の状況を示し（別項）14日にすることを強く求めました。

再任用の賃金水準引上げも強い要求となつていきます。

非正規職員の賃金・休暇制度などの労働条件、雇用の安定、正規職員との均等待遇、病気休暇と生理休暇の有給化、病気休暇の日数を正規並みにすることを強く求めました。

労働条件交渉 残業代を支払え 大阪市労働条件劣悪

本部・青年部・女性部（3月4日）、各専門部（3月7日）労働条件交渉書・回答交渉を行いました。

本部は、勤務時間外に行う授業準備・校務・部活動は、すべて「使用者の指揮命令下」の「労働時間」であり、教員にも残業代を支払うことと、また「1人1台学習者用端末」が子どもたちに「視力低下」や「睡眠障害」など健康被害を及ぼす恐れがあることと、大阪市の出願期間はずでに始まっている、4月22日までとなつていきます。現場で奮闘されている現職講師の先生たちの支えとなれるよう、今後も情報を集め活動を進めていきます。（K）

行政職の最高号給が4月から8号給増設されますが、大幅な増設と55歳以上の昇給停止の廃止を要求。教職員の長時間労働解消、度重なる人員削減と業務量の増加で職場が限界にきていることを指摘しました。60歳後特別選考を導入・活用する」というように、現場で働く先生たちに対する「試験負担に配慮する工夫」を示しています。

本部・青年部・女性部は、「学力向上支援授業」の「効果検証」授業について、指導主事が参加する年間3回の公開授業が青年教職員の大きな負担になっているため、負担軽減を行うことを要求しました。

女性部は、妊娠障害休暇が他都市（京都府は3週間、大阪府・兵庫県・滋賀県・堺市は14日）と比べ、大阪市の「7日」が極端に少ないことを訴え、「14日」にすることを要求。「市労組連」の課題として今後も交渉を行います。

幼稚園部は、新たな市立幼稚園民営化計画の撤廃、幼稚園型認定こども園への移行により幼稚園教諭の勤務労働条件を改善しないことなどを要求しました。

栄養教職員部は、民間委託事業において給食水準が低下しないようにすること、食器の種類・材質の見直し、中学校給食の食器を配膳量に見合ったものに変更すること、食物アレルギー対応について学校全体への周知徹底などを要求しました。

養護教職員部は、泊をとまなう行事の引率するときの労働条件について、養護教職員の意思の尊重、労働条件の悪化につながらない条件

たんぽぽ だより 4月

1年があつたという間に終わり、また始まりです。皆さん、元気に1年を過ごせましたか？そして次の子どもたちを笑顔で迎える準備はできましたか？

年度末は人事のことで気を揉んだ人も多かったことう間に終わり、また始まりです。皆さん、元気に1年を過ごせましたか？そして次の子どもたちを笑顔で迎える準備はできましたか？

本年度末は人事のことで気を揉んだ人も多かったことう間に終わり、また始まりです。皆さん、元気に1年を過ごせましたか？そして次の子どもたちを笑顔で迎える準備はできましたか？

改善されつつあります。そもそも20代30代の病休や退職が多く、理由は人それぞれですが、大阪市の先生として働き続けられない状況があるということです。また採用されて1年たらずして学校を去ることも少なくありません。働きやすい環境を整備などを要求しました。「夜間勤務手当」の支給条件についても交渉の中で確認をしました。

事務職員部は、「賃金格差」がある臨時任用職員などの最高号給賃金を府費臨時主事と同じ水準に引き上げること、「学校事務職員の働き方改革」を示すことなどを要求しました。

障害児教育部は、今後すべての小中学校で実施される通級指導教室の担当教員や、特別支援教育コーディネーターの業務負担軽減などを要求しました。

臨時教職員部は、講師の給料表「2級」適応（政令市では札幌、さいたま、川崎、横浜、相模原、静岡、浜松、名古屋、広島が実施）、「教員採用選考テスト」の「早期化」による講師負担軽減を要求しました。

校で実施される通級指導教室の担当教員や、特別支援教育コーディネーターの業務負担軽減などを要求しました。

ガーベラ だより 教採試験早期化 出願22日 突破講座② 4月27日

教採突破講座①を3月16日に開催しました。登録者含め12人の参加がありました。「教員採用試験の早期化」や「労働条件要求書」の話をはじめ突破講座の合格者からの「合格体験」やエントリース

1トの作成のこと、「2024年度教員採用試験の傾向と対策」など話を聞き、交流を深めました。

教員採用試験の早期化にかかわって文部科学省は方向性を提示しています。特に「臨時講師等をし

ながら受験する者への配慮について」には「教員採用選考試験の1次試験合格等については、翌年度の当該試験を免除すること」や「教職経験者を対象とした現職教員としての経験を適切に評価できる



大阪市の出願期間はずでに始まっている、4月22日までとなつていきます。現場で奮闘されている現職講師の先生たちの支えとなれるよう、今後も情報を集め活動を進めていきます。（K）

2024年度 本部執行部

役員 宮城 登	執行委員長 諫早 健義	書記長 覚道 康代	書記次長 三木 雅義	会計委員 図書 知子
役員 坂本 朋子	執行委員 保木 良太	執行委員 田中 幸恵	執行委員 吉岡 朋生	執行委員 吉田 雅子
役員 河本 優子	執行委員 清水 小	執行委員 西島 小	執行委員 三上 瑞穂	執行委員 関目 小